



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 凸版印刷株式会社

上場取引所 東

コード番号 7911 URL <http://www.toppan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 垣谷 英孝

TEL 03-3835-5665

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	733,396	△3.9	13,679	△13.6	12,461	△25.1	2,767	△44.9
23年3月期第2四半期	762,864	5.5	15,827	121.0	16,628	145.3	5,019	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 5,577百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △6,188百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.30	—
23年3月期第2四半期	7.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,629,003		864,616			45.0
23年3月期	1,694,328		864,016			43.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 733,178百万円 23年3月期 734,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	11.00	—	7.00	18.00
24年3月期	—	9.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,515,000	△2.7	41,000	△8.9	42,000	△5.7	13,000	7.0	20.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	699,412,481 株	23年3月期	699,412,481 株
24年3月期2Q	56,595,561 株	23年3月期	56,152,035 株
24年3月期2Q	643,180,887 株	23年3月期2Q	643,682,739 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) その他の情報	12

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)のわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、依然として厳しい状況にありました。サプライチェーンの復旧に伴う生産面での持ち直しの動きなどは見られるものの、世界金融市場の混乱に伴う海外経済の下振れリスクや、雇用情勢の低迷、円高の進行などにより、引き続き予断を許さない状況にあります。

印刷業界におきましては、企業の広告宣伝費は震災によるプロモーション活動の自粛などの影響により減少し、出版市場も依然として縮小傾向が続いております。個人消費については回復の兆しは見られるものの本格的な回復には至っておらず、全体として厳しい経営環境にありました。

このような環境のなかでトッパングループは、21世紀の企業像と事業領域を定めた「TOPPAN VISION 21」に基づき、「グループを含めた構造改革の遂行」、「新事業・新市場の創出」、「グローバルな事業展開の加速」を重要な経営課題と位置付け、収益体質の強化のためにグループ一体となって、既存事業においては競争優位性の確立とコスト削減を推進すると同時に、新たな収益モデルを早期に確立するために、成長分野に対する経営資源の投入を積極的に図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期に比べ3.9%減の7,333億円となりました。また、営業利益は13.6%減の136億円となり、経常利益は25.1%減の124億円となりました。四半期純利益は44.9%減の27億円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は以下のとおりです。

《情報・ネットワーク系事業》

証券・カード関連では、ICカードは、ETCカードや交通系カードが好調に推移しましたが、約款などの一般証券物、偽造防止などのセキュリティデバイスが減少し、全体として前年を下回りました。

商業印刷関連では、企業の広告宣伝費が震災によるプロモーション活動の自粛などの影響により減少し、これに伴いチラシやパンフレット、カタログなどが減少しました。一方、電子チラシサイト「Shufu o! (シュフー)」は、登録法人数、登録店舗数ともに増加しました。また日本初となる電子チラシを配信するサービス「電子オロコミサービス」を開始し、事業のさらなる拡大を目指します。

出版印刷関連では、出版市場が依然として縮小傾向で推移し、雑誌・書籍ともに前年を下回りました。デジタルコンテンツ市場においては、各種端末向けコンテンツの制作、取次、配信サービスなどを展開し、順調に事業を拡大しております。

ビジネスフォーム関連では、ビジネスフォームは、震災による企業活動の停滞や経費削減の徹底に伴う帳票類の需要減、価格競争の激化などにより、前年を下回りました。データ・プリント・サービスは、通知物の電子化や簡素化、価格競争の激化、販売促進用ダイレクトメールの減少などにより、前年を下回りました。

以上の結果、情報・ネットワーク系事業の売上高は前年同四半期に比べ3.8%減の4,173億円、営業利益は11.4%減の130億円となりました。

《生活環境系事業》

パッケージ関連では、消費者の環境意識の高まりを背景に、環境配慮型製品である「カートカン」「エコフラットカップ」などの拡販に努めましたが、震災による当社およびグループ会社の工場の稼働停止などの影響により、紙器および段ボールは前年を下回りました。一方、透明ハイバリアフィルムである「GLフィルム」が増加したことなどにより、軟包装材は順調に推移しました。

産業資材関連では、太陽電池バックシートが海外需要を取り込み売上を拡大し、全体としても好調に推移しました。

建装材関連では、国内住宅市場がやや回復傾向で推移するなか、独自ブランド「101エコシート」などの環境配慮型製品の積極的な販売展開を行うとともに、欧米向けの受注も取り込み順調に推移しました。

以上の結果、生活環境系事業の売上高は前年同四半期に比べ1.1%増の1,991億円、営業利益は3.5%増の101億円となりました。

《エレクトロニクス系事業》

半導体関連のフォトマスクは、市場の伸びは鈍化しているものの、先端品需要を確実に取り込み、堅調に推移しました。

ディスプレイ関連のカラーフィルタは、中小型サイズはスマートフォン向けなどを中心に堅調に推移したものの、大型サイズは液晶パネルの生産調整の影響を受け、前年を下回りました。反射防止フィルムは、液晶テレビ向けなどの新規需要を取り込み、好調に推移しました。

プリント配線板は、通信機器向けなどの民生用電子機器市場をはじめ需要が拡大し、順調に推移しました。

以上の結果、エレクトロニクス系事業の売上高は前年同四半期に比べ9.7%減の1,314億円、営業利益は22.5%減の29億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ653億円減少し、1兆6,290億円となりました。これは現金及び預金が264億円、受取手形及び売掛金が342億円、それぞれ減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ659億円減少し、7,643億円となりました。これは支払手形及び買掛金が59億円、新株予約権付社債が348億円、長期借入金79億円、それぞれ減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億円増加し、8,646億円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ459億円(15.9%)減少し、2,425億円となりました。

当第2四半期における営業活動の結果得られた資金は、538億円となりました。これは、たな卸資産の増加額が115億円あったものの、減価償却費が392億円、売上債権の減少額が346億円あったことなどによるものです。

当第2四半期における投資活動により使用した資金は、497億円となりました。これは、有価証券の取得による支出が174億円、有形固定資産の取得による支出が347億円あったことなどによるものです。

当第2四半期における財務活動により使用した資金は、489億円となりました。これは、社債の償還による支出が350億円、配当金の支払額が45億円あったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、平成23年8月5日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 追加情報

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	194,983	168,563
受取手形及び売掛金	431,489	397,270
有価証券	94,956	85,056
商品及び製品	36,358	40,228
仕掛品	33,601	38,744
原材料及び貯蔵品	23,976	26,455
その他	40,531	43,734
貸倒引当金	△6,655	△5,891
流動資産合計	849,242	794,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	277,655	274,510
機械装置及び運搬具(純額)	158,560	148,867
土地	138,921	138,277
建設仮勘定	16,827	18,777
その他(純額)	16,650	15,745
有形固定資産合計	608,615	596,178
無形固定資産		
その他	19,817	19,093
無形固定資産合計	19,817	19,093
投資その他の資産		
投資有価証券	148,077	151,140
その他	71,283	70,450
貸倒引当金	△2,708	△2,019
投資その他の資産合計	216,652	219,571
固定資産合計	845,085	834,843
資産合計	1,694,328	1,629,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	284,168	278,192
短期借入金	15,371	14,386
1年内返済予定の長期借入金	11,292	14,974
1年内償還予定の社債	30,200	30,000
未払法人税等	9,980	9,859
賞与引当金	18,932	17,475
災害損失引当金	2,632	1,145
その他の引当金	809	581
その他	79,732	71,506
流動負債合計	453,120	438,122
固定負債		
社債	118,262	118,458
新株予約権付社債	35,440	590
長期借入金	127,963	116,329
退職給付引当金	45,328	45,844
その他の引当金	1,262	1,277
その他	48,935	43,765
固定負債合計	377,191	326,265
負債合計	830,311	764,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	104,986	104,986
資本剰余金	117,738	117,738
利益剰余金	582,329	580,592
自己株式	△55,326	△55,577
株主資本合計	749,727	747,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,576	8,158
繰延ヘッジ損益	402	327
為替換算調整勘定	△22,689	△23,047
その他の包括利益累計額合計	△15,709	△14,561
新株予約権	47	35
少数株主持分	129,951	131,402
純資産合計	864,016	864,616
負債純資産合計	1,694,328	1,629,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	762,864	733,396
売上原価	641,130	617,093
売上総利益	121,733	116,303
販売費及び一般管理費		
運賃	18,367	17,589
貸倒引当金繰入額	1,210	△628
役員報酬及び給料手当	33,574	33,035
賞与引当金繰入額	6,190	6,267
役員賞与引当金繰入額	246	218
退職給付費用	1,909	2,268
役員退職慰労引当金繰入額	160	155
旅費	2,848	2,902
研究開発費	8,240	8,258
その他	33,157	32,555
販売費及び一般管理費合計	105,905	102,624
営業利益	15,827	13,679
営業外収益		
受取利息	277	282
受取配当金	2,173	2,135
持分法による投資利益	981	1,321
金利スワップ評価益	2,204	1,586
その他	3,041	2,206
営業外収益合計	8,678	7,532
営業外費用		
支払利息	1,527	1,821
複合金融商品評価損	2,306	1,623
その他	4,043	5,304
営業外費用合計	7,878	8,749
経常利益	16,628	12,461

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	262	76
投資有価証券売却益	87	69
株式割当益	840	—
その他	—	3
特別利益合計	1,190	149
特別損失		
固定資産除売却損	746	886
投資有価証券評価損	2,306	3,800
投資有価証券売却損	69	0
災害による損失	—	988
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,915	—
その他	262	18
特別損失合計	5,300	5,694
税金等調整前四半期純利益	12,518	6,916
法人税、住民税及び事業税	5,702	7,591
法人税等調整額	1,020	△5,077
法人税等合計	6,723	2,514
少数株主損益調整前四半期純利益	5,795	4,402
少数株主利益	775	1,635
四半期純利益	5,019	2,767

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,795	4,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,802	1,938
繰延ヘッジ損益	△75	△75
為替換算調整勘定	△4,645	△110
持分法適用会社に対する持分相当額	△460	△577
その他の包括利益合計	△11,983	1,175
四半期包括利益	△6,188	5,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,594	3,915
少数株主に係る四半期包括利益	△593	1,662

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,518	6,916
減価償却費	40,102	39,275
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,218	528
前払年金費用の増減額(△は増加)	1,373	843
貸倒引当金の増減額(△は減少)	454	△1,460
売上債権の増減額(△は増加)	9,277	34,678
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,141	△11,574
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,210	△5,867
その他	3,200	△5,218
小計	56,358	58,122
利息及び配当金の受取額	2,470	2,421
利息の支払額	△1,662	△2,018
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△8,138	△4,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,026	53,882
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△5,392	△17,455
有価証券の売却による収入	563	8,259
有形固定資産の取得による支出	△28,474	△34,747
有形固定資産の売却による収入	1,347	1,579
無形固定資産の取得による支出	△1,102	△2,400
投資有価証券の取得による支出	△5,740	△1,682
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,029	236
関係会社株式の取得による支出	△22	△1,370
その他	4,812	△2,189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,979	△49,769
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	101	△910
長期借入れによる収入	1,420	62,171
長期借入金の返済による支出	△6,600	△69,993
社債の償還による支出	△35,000	△35,050
自己株式の取得による支出	△29	△12
配当金の支払額	△7,094	△4,514
その他	△1,204	△669
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,406	△48,978
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,242	△1,048
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△33,601	△45,914
現金及び現金同等物の期首残高	238,032	288,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 204,431	※ 242,547

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報・ネット ワーク系事業	生活環境 系事業	エレクトロニ クス系事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	428,500	189,251	145,112	762,864	—	762,864
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,477	7,844	509	13,831	△13,831	—
計	433,978	197,096	145,621	776,696	△13,831	762,864
セグメント利益 (営業利益)	14,700	9,785	3,870	28,356	△12,528	15,827

(注) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△12,284百万円等が含まれております。全社費用は、主に当社の本社部門及び基礎研究部門等にかかる費用です。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報・ネット ワーク系事業	生活環境 系事業	エレクトロニ クス系事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	411,027	191,168	131,200	733,396	—	733,396
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,317	8,026	247	14,590	△14,590	—
計	417,344	199,194	131,448	747,986	△14,590	733,396
セグメント利益 (営業利益)	13,022	10,126	2,999	26,149	△12,470	13,679

(注) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△12,382百万円等が含まれております。全社費用は、主に当社の本社部門及び基礎研究部門等にかかる費用です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) その他の情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<p>1 保証債務</p> <p>(1) 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対する保証</p> <p style="text-align: right;">百万円</p> <p>P. T. MATSUZAWA PELITA FURNITURE INDONESIA 42 * 1</p> <p>Maskhouse Building Administration 327 * 2 GmbH & Co. KG</p> <p>Advanced Mask Technology Center GmbH & Co. KG 1,410 * 3</p> <p style="text-align: right;">計 1,780</p> <p>上記*1の一部、*2及び*3については外貨建保証債務額であり、連結決算日の為替相場により円換算しております。</p> <p>*1 20百万円 (248千米ドル) *2 327百万円 (2,785千ユーロ) *3 1,410百万円 (12,000千ユーロ)</p> <p>(2) 従業員住宅借入金に対する保証</p> <p style="text-align: right;">8百万円</p> <p>(3) 勤労者財産形成促進法に基づく従業員の銀行からの借入金に対する保証</p> <p style="text-align: right;">4百万円</p> <p>2 受取手形割引高</p> <p style="text-align: right;">615百万円</p>	<p>1 保証債務</p> <p>(1) 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対する保証</p> <p style="text-align: right;">百万円</p> <p>P. T. MATSUZAWA PELITA FURNITURE INDONESIA 41 * 1</p> <p>Maskhouse Building Administration 96 * 2 GmbH & Co. KG</p> <p>Advanced Mask Technology Center GmbH & Co. KG 1,145 * 3</p> <p>Toppax LLC 606 * 4</p> <p style="text-align: right;">計 1,888</p> <p>上記*1の一部、*2、*3及び*4については外貨建保証債務額であり、当四半期連結会計期間末日の為替相場により円換算しております。</p> <p>*1 19百万円 (248千米ドル) *2 96百万円 (928千ユーロ) *3 1,145百万円 (11,000千ユーロ) *4 606百万円 (7,906千米ドル)</p> <p>(2) 従業員住宅借入金に対する保証</p> <p style="text-align: right;">7百万円</p> <p>(3) 勤労者財産形成促進法に基づく従業員の銀行からの借入金に対する保証</p> <p style="text-align: right;">3百万円</p> <p>2 受取手形割引高</p> <p style="text-align: right;">508百万円</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
<p>※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年 9月30日)</p> <p>現金及び預金勘定 172,769百万円</p> <p>有価証券勘定 43,695</p> <p style="text-align: right;">計 216,464</p> <p>預入期間が3か月を超える定期預金 △6,233</p> <p>償還期間が3か月を超える債券等 △5,799</p> <p>現金及び現金同等物 204,431</p>	<p>※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年 9月30日)</p> <p>現金及び預金勘定 168,563百万円</p> <p>有価証券勘定 85,056</p> <p style="text-align: right;">計 253,620</p> <p>預入期間が3か月を超える定期預金 △325</p> <p>償還期間が3か月を超える債券等 △10,746</p> <p>現金及び現金同等物 242,547</p>